

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C1271028-M00001-2

製品名:クロム試薬 ChromaVer®3 5 または 10ml 用 PP 1000 包入

作成日 2008 年 07 月 14 日

改訂日 2015 年 01 月 15 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製 品 名 : クロム試薬 ChromaVer®3 5 または 10ml 用 PP 1000 包入
 カタログ No : 1271028
 品目コード : HACH0079
 会 社 名 : 東亜ディーケーケー株式会社
 住 所 : 東京都新宿区高田馬場 1-29-10
 担 当 部 門 : HACH 営業部
 電 話 番 号 : 04-2957-6152
 F A X 番 号 : 04-2957-9906

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分 1
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 1
 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（気道刺激性）

（上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。）

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

安全対策

粉じんを吸入しないこと。
 ミストを吸入しないこと。
 ガスの吸入を避けること。
 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C1271028-M00001-2

製品名:クロム試薬 ChromaVer®3 5 または 10ml 用 PP 1000 包入

保管	特別な処置が必要である。
	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
廃棄	容器を密閉した状態で換気の良い場所で保管すること。
	施錠して保管すること。
	過剰の水にて 5 % 以下の濃度まで希釈し、ソーダ灰や重炭酸ナトリウムのようなアルカリで pH 6 ~ 8 に調整する。冷水弁を全開にし、ゆっくりと薬剤を排水へ注ぎ流す。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名	ピロ硫酸カリウム	硫酸マグネシウム	1,5-ジフェニルカルボノヒドライド
含有量	75.0-85.0 (w/w) %	15.0-25.0 (w/w) %	0.01-0.1 (w/w) %
化学式又は構造式	$K_2S_2O_7$	$MgSO_4$	$C_{13}H_{14}N_4O$
官報公示整理番号			
化審法	1-454	1-467	3-2202
安衛法	—	—	—
CAS No	7790-62-7	10034-99-8	140-22-7

4. 応急措置

眼に入った場合	： 直ちに流水で 15 分間よく洗眼し、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	： 多量の水にてよく洗う。炎症が生じた場合は医師に連絡する。
飲み込んだ場合	： 無理に吐かせない。コップ 1 ~ 2 杯の水を与え、直ちに医師に連絡する。無意識の場合は口から何も与えない。
吸入した場合	： 新鮮な空気のある場所へ移動する。

5. 火災時の措置

燃焼性	： 燃焼により有毒煙霧が生じる。
引火点	： 該当せず
方法	： 該当せず
燃焼限界	： 該当せず
爆発下限	： 該当せず
爆発上限	： 該当せず
自然発火温度	： 該当せず
有害燃焼製品	： 硫黄酸化物の有毒煙霧
火災/爆発の危険性	： 強塩基、強還元剤と激しく反応する。
静電放電	： 報告なし
機械的衝撃	： 報告なし
消火剤	： 粉末薬品、二酸化炭素、アルコール泡消火剤
消火方法	： 消火作業の際は、自給式呼吸器及び防護服を着用する。安全な場所へ避難し、十分な距離を取ってから消火に当たること。

6. 漏出時の措置

避難対応通告	： 有害物質に関わる緊急時措置に適切な認定を受けた人のみにより漏出時の対応措置を講じること。
環境に対する注意事項	： 漏出物を砂などの不活性物質で覆い、環境への流出を防ぐ。
回収、中和	： 漏出物を大きめのビーカーにすくい入れ水で溶解する。ソーダ灰や重炭酸ナトリウムのようなアルカリで pH 6 ~ 8 に調整する。漏出場所は石鹼溶液で除染する。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C1271028-M00001-2

製品名:クロム試薬 ChromaVer®3 5 または 10ml 用 PP 1000 包入

避難措置 : 450 g 以上漏出した場合は漏出区域（半径 4～5 m または施設の緊急対応計画の指示する通り）から避難する。状況に応じて避難規模を拡大する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 眼との接触を避ける。ダストを吸い込まない。取扱い後はよく洗う。一般的な労働衛生上の規則に従うこと。

保管 : 湿気から保護し、還元剤から隔離する。10～25℃で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 近くに洗眼施設を設ける。ミスト、蒸気、ダストへのばく露を最小限に抑えるために一般の換気装置を使用する。一般的な労働衛生上の規則に従う。

個人用保護装備

眼の保護 : ゴーグル型保護眼鏡

皮膚の保護 : 使い捨てラテックス手袋、白衣

呼吸器の保護 : 十分な換気装置

予防措置 : 眼との接触を避ける。ダストを吸い込まない。取扱い後は全体的によく洗う。還元剤から隔離する。

9. 物理的及び化学的性質

形状	: 固体（粉末）	臭い	: データなし
色	: 白～薄桃色	pH	: 1.1 (5%溶液)
分子量	: 該当せず		
蒸気圧	: 該当せず		
蒸気密度	: 該当せず		
沸点	: 該当せず		
融点	: 215℃ ; 419℉		
比重（水=1）	: 2.26		
蒸発速度（水=1）	: データなし		
揮発性有機化合物含有量	: データなし		
分配係数	: データなし		
溶解度			
水	: 微かに溶解する		
酸	: 溶解する		
その他	: データなし		
金属腐食性			
スチール	: 該当せず		
アルミニウム	: 該当せず		

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 適切な条件下にて保管すれば安定

避けるべき状態 : 過度の湿気、熱分解

反応性/非共存性 : 強塩基、還元剤との共存不可。

危険有害な分解生成物 : 硫酸化物の有毒性及び/又は腐食性の煙霧を発生する。

危険有害な重合 : 起こらない

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C1271028-M00001-2

製品名:クロム試薬 ChromaVer®3 5 または 10ml 用 PP 1000 包入

1 1. 有害性情報

製品毒性データ

LD50	:	報告なし
LC50	:	報告なし
経皮毒性	:	報告なし
皮膚及び眼刺激性	:	皮膚：非腐食性、浮腫および紅斑なし
変異原性	:	報告なし
生殖毒性	:	報告なし

成分毒性データ

ピロ硫酸カリウム：経口ラット LD50=2340mg/kg

1 2. 環境影響情報

製品環境影響情報	:	データなし
成分環境影響情報	:	データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	過剰の水にて5%以下の濃度まで希釈し、ソーダ灰や重炭酸ナトリウムのようなアルカリでpH6～8に調整する。冷水弁を全開にし、ゆっくりと薬剤を排水へ注ぎ流す。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装	:	容器は適切な溶媒にて3回すすぎ、規制に準じて一般廃棄物として廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報	:	該当せず
海上規制情報	:	該当せず
航空規制情報	:	該当せず
国連番号	:	該当せず
品名	:	該当せず
国連分類	:	該当せず
容器等級	:	該当せず
緊急時応急措置指針番号	:	なし
輸送の特定の安全対策及び条約	:	輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

その他の情報

本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり分類される。国連分類：クラス9（有害性物質）、国連番号：3316

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法	:	該当せず
化学物質管理促進法（PRTT）	:	該当せず
労働安全衛生法	:	該当せず

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C1271028-M00001-2

製品名:クロム試薬 ChromaVer®3 5 または 10ml 用 PP 1000 包入

16. その他の情報

引用文献等

- ① Hach Company MSDS No. M00001 (ChromaVer® 3 Chromium Reagent)
- ② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
- ③ ezCRIC-2013 日本ケミカルデータベース(株)
- ④ JIS Z7252-2014 および Z7253-2012

記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

その他

GHS分類は JIS Z 7252 に基づくものであり、HACH社のGHS分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。